

支部企画のご案内

職員接遇研修会



接遇の心得とクレーム対応

日時 5月14日(土) 14時30分～16時30分
 会場 尼崎市中小企業センター 501号(阪神尼崎駅より徒歩5分)
 講師 大手前短期大学准教授 水原 道子先生
 参加費 1,000円

受付窓口や、電話での対応など基本的な接遇や、患者心理をふまえた接遇のポイントをはじめ、スタッフへの迷惑行為やクレームへの対応法などをわかりやすくお話いただきます。

新しい職員の方はもちろん、改めて日頃の仕事を見直す機会として、ベテランの方もぜひご参加下さい。
 参加申込は、支部担当・長澤、荒川、駒ヶ嶺 (TEL:078-393-1805) まで。

尼崎支部文化企画

ふるさと発見!! < 予告 > ※4月下旬～5月頃開催予定

『尼崎寺町七福神めぐり』& 食いしん坊ツアー

<コース> 阪神尼崎駅(集合)～三和本通商店街～寺町(七福神)～世界の貯金箱博物館
 ～ヒノデあめ本舗～阪神尼崎駅(解散) →解散後、希望者で試食会

七福神めぐり色紙を購入し(希望者)、スタンプラリーをして回ります。
 解散後、ハリマ食品のワンダフルソース、柊千の蒲鉾、ヒノデあめ本舗の水飴など、地元の名品を買って試食会も行います。

先生、スタッフやご家族の皆さんもぜひご参加ください!

※『昭和の貯金箱展』3月末まで開催中!

尼崎信用金庫・世界の貯金箱博物館の「昭和の貯金箱展」では、昔懐かしいアニメキャラクターや、歴史を感じるおもしろ貯金箱がたくさん揃っています。3月末まで開催していますので、ぜひのぞいてみては!?



東日本大震災救援募金にご協力ください

被災された方々へ、謹んでお悔やみとお見舞いを申し上げます。
 会員の先生からの救援募金を受け付けています。ご協力をお願い申し上げます。
 詳しくは、協会ホームページをご参照ください。 <http://www.hhk.jp/>

【郵便振込】<加入者名> 兵庫県保険医協会 <振込口座> 00910-2-150366
 【銀行振込】三井住友銀行 神戸営業部 普通預金 9088160 ヒョウケンケンキョウカイ
 *お振り込みの際には通信欄に「地震募金」と明記してください

兵庫県保険医協会

尼崎支部ニュース

320号

2011年3月25日付

〒660-0055 尼崎市稲葉元町2-11-10 八木クリニック内
 兵庫県保険医協会尼崎支部 TEL06-6417-6600 FAX06-6417-6011

第79回医療と福祉を考える会「認知症の基礎知識」

病状や病態に応じた対応を

尼崎支部は12月24日、アルカイクホール・ミニで第79回医療と福祉を考える会を開催。つちやま内科クリニック(西宮市)院長の土山雅人先生が、「認知症の基礎知識」と題して講演し、医師、看護師、介護職など140人が参加。綿谷茂樹副支部長が司会を担当した。

土山先生は、認知症の現状や定義、認知症をきたす疾患を示し、アルツハイマー型認知症、およびレビー小体型や前頭側頭型などの非アルツハイマー型認知症について講演。

アルツハイマー型認知症(AD)では、記憶障害や判断力の障害などの中核症状、徘徊や妄想などにみられる周辺症状(BPSD)を解説。「孤立・不安」「不適切な住環境」「不適切なコミュニケーション」などの周辺症状を起しやすいう要因をあげ、「現在の症状の背景にあるものを考えることが必要」と対応の留意点を強調した。

非アルツハイマー型認知症では、レビー小体型認知症(DLB)における鮮明な幻視、易転倒性などの注意点や、前頭側頭型認知症(FTD)の「多くが65歳未満に発症」「交通事故が多い」といった特徴点を指摘し、それらを踏まえたうえでのケアについて触れた。

最後に「ひとりの患者でいくつかの病変が混在していることも稀ではない」として、「病名をつけることにこだわらず、病状・病態に応じた対応を考える」ことが重要と訴えた。

参加者からは、認知症をきたす疾患に対する手術の適応、統合失調症と睡眠薬の関係など具体的な質問が出され、土山先生が丁寧に回答した。



講師の土山雅人先生



多数の医療関係者が参加し好評を得た

続けてます! 震災復興住宅・金楽寺 健康教室「お口と健康」

“噛む” ことで健康に

支部の震災対策として取り組む、金楽寺復興住宅での健康教室を3月16日に開催。今回は「お口と健康」をテーマに、松田歯科医院(杭瀬本町)の松田哲一先生が講師を務め、入居者16人が参加した。

松田先生は、ゆっくりと、よく噛んで食べるにより肥満解消や認知症といった病気の予防にもつながるとし、歯周病と糖尿病の深いかわりや、唾液のはたらきなど、お口と健康には密接なかかわりがあることを解説。「自分の歯で噛むことでより健康に効果がある」と口腔ケアの重要性を説明した。

また自分に合う歯ブラシを選ぶこと、磨き方のクセに注意すること、ゴシゴシと磨きすぎないことなどケアのポイントを紹介した。参加者からは、どんな症状が出たら歯医者に行った方がいいかなどの質問が出され、ひとつひとつ丁寧に回答した。



保団連発行『より良く食べるはより良く生きる』を使って解説

市民要求を実現できる県政に

— 尼崎民主市政の会が定期総会開催



尾島筆頭代表があいさつ

支部が幹事団体となっている尼崎民主市政の会は2月15日、2011年度定期総会を開催した。

議案提案では、2期目の白井市政が「財政再建」に重きを置き、福祉や住民サービスを切り捨ててきたことや、市財政の再建のために国の「構造改革」路線を改めさせる必要があることなどから、徳田稔候補とともに闘った市長選挙について、まとめと課題が報告された。

また、「県立尼崎病院と塚口病院の統合再編問題」や「国保問題」など、不安を抱える市民の要求を実現できる県政を目指し、稲村新市長に対して政策的提言を含めて働きかけを強めていく運動方針が承認された。

討論では、参加者から「子育て対策をはじめ住みよい街づくりなどを掲げて、若い層にも働きかけていかなければならない」「多くの市民が国保料の高さに悲鳴をあげており、国保法44条を実態ある制度とするため運動を強めたい」といった決意が語られるなど、活発に意見交換を行った。

尼崎アスベスト裁判

飛散を全面否定するクボタに反論

「石綿粉じんが舞う中での港湾荷役作業」

「石綿が充満飛散していた工場の窓は開けっ放し、扇風機で排出」

旧クボタ神崎工場周辺で環境曝露による中皮腫で死亡し、クボタと国に謝罪と損害賠償を訴えている山内康民さんらの20回目の裁判(環境型)が、3月1日に行われた。

「早くから自動化、密閉化し、工場から飛散させていない」「神戸港から旧神崎工場まで運ばれる麻袋は繰り返し利用されていたとは考えられず、飛散はありえない」と主張しつづけているクボタにたいし、原告側は6人の陳述書を提出。「厚生労働省のホームページにも、『手鉤を使用し



3月1日神戸地裁。第20回口答弁論に向かう原告ら

ていたため石綿粉じんが舞う中での荷役作業」と『写真付き解説』もあるとおり、麻袋は使い古しで破れやほころびがあり、荷役作業中から大量に飛散していた」と指摘した。次回は5月11日。

またクボタの下請け会社でアスベストの運搬作業に従事し、アスベストによる死亡が判明した山本美智子さんらの7回目の裁判(労災型)が3月4日に行われた。

「麻袋の繰り返し利用は考えられないので、港湾荷役による飛散はありえない」、「製造工程の改善により旧神崎工場からの飛散はありえない」と主張しているクボタにたいし、元従業員、出入り業者、周辺住民の証言をもとに「脆弱な麻袋の手鉤使用による飛散」の事実や、「高濃度の石綿が充満飛散しており、工場の窓は開けっ放し、扇風機で排出していた」などと指摘。

61年当時すでに知見が存在していたにもかかわらず、労基法の権限行使を怠っていた国の責任も指摘した。次回は5月13日。

「労災の時効の理由が納得できない」

一方、肺がん発症当時アスベストとは認識されず、その後労災の認定はされたものの、休業補償は2年の時効を過ぎていたとの理由で不支給とされた松本博さんの行政訴訟は2月17日、本人尋問が行われ、「ホコリの危険性やマスク着用の注意もなかった。手鉤を使って袋を運び破れることもあったが、中身は綿の一種かと思った」と神戸港で荷役をしていた当時の状況を説明。「97年に肺がん手術後働けなくなり、06年になって肺がんの原因が石綿だと言われ、健康管理手帳を取得した。労災の時効の理由が納得できない」と述べた。5月12日に結審。